

# 青森県内の都市再生整備計画関連事業 活用事例①【青森市】

## 青森駅周辺地区地区（都市構造再編集中支援事業）

◆事業概要:本地区は、青森市立地適正化計画の都市機能誘導区域のひとつとして、青森駅を中心に商業・業務等が集積しているものの、鉄道により東西が分断されており、その解消による回遊性の向上や、多様な交通アクセスへの対応、市民や観光客が集まる新たな魅力や仕組みづくりが必要となっている。このことから、駅前広場の整備により交通結節機能の強化や、自由通路の整備と一体となってバリアフリーに対応した歩行者ネットワークを確保するなど、人が集まる環境整備による回遊とにぎわいの創出を図るものである。

◆事業主体:青森市    ◆面積:144.9ha    ◆交付期間:平成30年度～令和5年度    ◆事後評価年度:令和6年度

■基幹事業:  
・高質空間形成施設(緑化施設等) 8・7・2号青森駅自由通路  
修景(壁面)



■基幹事業:  
・道路 3・6・6号青森駅西口線 L=約130m W=11m  
(青森駅西口駅前広場 A=8,000㎡)



□提案事業  
・地域創造支援事業  
青森市シャトル・ルートバス実証実験

○関連事業  
・8・7・2号青森駅自由通路  
L=170m、W=6.0m

■基幹事業  
・高質空間形成施設(障害者誘導施設等)  
8・7・2号青森駅自由通路 EV、ESC整備

■基幹事業  
・道路 8・7・2号青森駅自由通路 L=約30m W=10m  
(自由通路全体 L=170m W=6m)  
駅ビル内自由通路の整備



■基幹事業:  
・高質空間形成施設(緑化施設等)  
3・6・6号青森駅西口線 案内板等

■基幹事業:  
・高質空間形成施設(障害者誘導施設等)  
青森駅西口公衆トイレ A=約33㎡

○関連事業  
・新市庁舎整備事業

— : 都市再生整備計画の区域  
— : 都市機能誘導区域  
— : 居住誘導区域  
— : 滞在快適性等向上区域  
 : ■ 基幹事業  
 : □ 提案事業  
 : ○ 関連事業  
 (参考)

## 青森操車場跡地周辺地区（都市構造再編集中支援事業）

◆事業概要:本地区は、青森市立地適正化計画の都市機能誘導区域のひとつに設定されており、青森地区の市街化区域の中央部に位置し、子育て、福祉、医療等の都市機能が集積しているものの、青森操車場跡地(遊休地)の利活用が課題となっている。このことから、今後は、既存ストックを有効活用するほか、青森操車場跡地にスポーツのみならず多様な催事ができる交流拠点として整備されるアリーナと併せ、周辺に緑地や多目的広場を整備することにより、市民の健康づくりとスポーツ振興を図ることとしている。また、関連事業で整備するアリーナを指定避難所などの防災拠点とすることで、地域の安心を支え、にぎわいを生み出す交流拠点の形成を目指すものである。

◆事業主体:青森市 ◆面積:100.0ha ◆交付期間:令和元年度～令和5年度 ◆事後評価年度:令和6年度

### ■基幹事業

・道路(都市機能誘導区域外)  
市道大野片岡36号線(改築)  
L=約90m W=15m

### ■基幹事業

・地域生活基盤施設(緑地・広場、地域防災施設)  
緑地、多目的広場 A=15,010㎡  
防災備蓄倉庫 2棟  
・高質空間形成施設  
(歩行支援施設、障がい者誘導施設等)  
バリアフリー対応公衆トイレ 1棟

### ■基幹事業

・道路 市道大野片岡36号線(改築)  
L=約1,040m W=15m

### ■基幹事業

・地域生活基盤施設(地域防災施設)  
【青森市総合体育館】防災備蓄倉庫 A=105.00㎡

### ■基幹事業

・高次都市施設【青森市総合体育館】(地域交流センター、子育て世代活動支援センター)  
多目的ルーム A=622.98㎡  
キッズルーム A=778.47㎡



□提案事業  
・事業活用調査  
民間活力導入可能性調査

### ○関連事業

・青森市アリーナプロジェクト推進事業  
(仮称)青森市アリーナ及び青い森セントラルパーク整備



### ■基幹事業

・地域生活基盤施設(緑地・広場、地域防災施設)  
緑地、多目的広場 A=26,627㎡、防災備蓄倉庫 2棟



・高質空間形成施設(歩行支援施設、障がい者誘導施設等)  
バリアフリー対応公衆トイレ 1棟



### ■基幹事業

・道路 市道南奥野44号線(改築) L=約1,090m W=15m



- : 都市再生整備計画の区域
- : 都市機能誘導区域
- : 居住誘導区域
- : 滞在快適性等向上区域
- : ■ 基幹事業
- : □ 提案事業
- (参考)
- : ○ 関連事業

# 青森県内の都市再生整備計画関連事業 活用事例③【弘前市】

## 弘前市中心拠点地区（都市構造再編集中支援事業）

◆事業概要：民間活力を活かし明治・大正期の赤レンガ倉庫を芸術文化施設としてリニューアル、さらに赤レンガ倉庫、桜の花筏で有名な弘前城、弘前駅を拠点に外国人旅行者を含めた来訪者の回遊性を高め、人を呼び込み、人の流れの創出を目指す。

◆事業主体：弘前市 ◆面積：237.9ha ◆交付期間：平成27年度～令和2年度 ◆事後評価年度：令和4年度

■基幹事業（道路（街路））  
（都）3・4・6号山道町樋の口町線



■基幹事業（公園）  
土淵川吉野町緑地



■基幹事業（既存建造物活用事業（中心拠点誘導施設）  
教育文化施設（博物館相当施設）  
■基幹事業（既存建造物活用事業（高次都市施設）  
地域交流センター

「弘前れんが倉庫美術館」



■基幹事業（高質空間形成施設）  
バリアフリー対応 公衆トイレ

■基幹事業（高質空間形成施設）  
市道 土手町住吉町線

■基幹事業（地域生活基盤施設）  
情報板設置（駅前他）

○関連事業  
実施主体：弘前市  
中心市街地公共交通アクセス向上社会実験  
市道住吉山道町線道路整備事業  
市道土手町住吉町線高質化事業（景観まちづくり刷新支援事業）  
実施主体：民間事業者  
駅前広場等官民連携活用事業（民間まちづくり活動促進事業）

## 八戸市中心拠点地区（都市構造再編集中支援事業）

◆事業概要：老朽化した建築物の低・未利用による街の空洞化、急速に進む高齢化・人口減少等から、市民や来街者の多様な活動・交流による賑わいの創出と街なか居住による地区の人口密度維持が強く求められていることから、中心拠点に文化・芸術活動の施設、にぎわい・活動拠点の施設を整備することで、街なか回遊の促進による賑わい再構築と都市の魅力向上による街なか居住（人口密度維持）を図ることとしている。

◆事業主体：八戸市 ◆面積：165.0ha ◆交付期間：平成27年度～令和2年度 ◆事後評価年度：令和2年度

■基幹事業 地域生活基盤施設  
八戸まちなか広場「マチニワ」

■基幹事業 中心拠点誘導施設  
教育文化施設「八戸市美術館」

■基幹事業 地域生活基盤施設  
新美術館前広場

■基幹事業 高質空間形成施設  
沢里長根線他

○道路事業 沢里長根線他  
(L=1,050m)

○内丸地区街なみ環境整備事業  
(A=26.5ha)

■基幹事業 優良建築物等整備事業  
番町・堀端町地区優良建築等整備事業

○地方創生推進交付金事業  
新美術館整備ディレクション事業

○地方創生推進交付金事業  
新美術館VIディレクション・デザイン事業

○八戸学院大学地域連携研究センター整備事業

■基幹事業 高質空間形成施設  
市庁前ロータリー他

■基幹事業 地域生活基盤施設  
更上間にぎわい交流広場

■基幹事業 公園  
屋内スケート場運動施設

■基幹事業 高次都市施設  
屋内スケート場交流施設

○長根公園整備事業(A=7.0ha)  
・屋内スケート場等

○街路 3・5・1号沼館三日町線  
(L=700m県事業)

○八日町地区優良建築物等整備事業

○六日町地区優良建築物等整備事業

□提案事業 まちづくり活動推進事業  
八戸ブックセンター

■基幹事業 高質空間形成施設  
稲荷町線他

■基幹事業 地域生活基盤施設・高質空間形成施設  
花小路

■くらしのみちゾーン形成事業  
・ハナミズキ通り他(電線類地中化)  
(L=550m)

□提案事業 事業活用調査  
事業効果分析調査

— 都市再生整備計画区域

— 都市機能誘導区域

■ 基幹事業

□ 提案事業

○ 関連事業（参考）

0 50 100 200 300 400 500

# 青森県内の都市再生整備計画関連事業 活用事例⑤【十和田市】

## 十和田市中心市街地地区（都市構造再編集中支援事業）

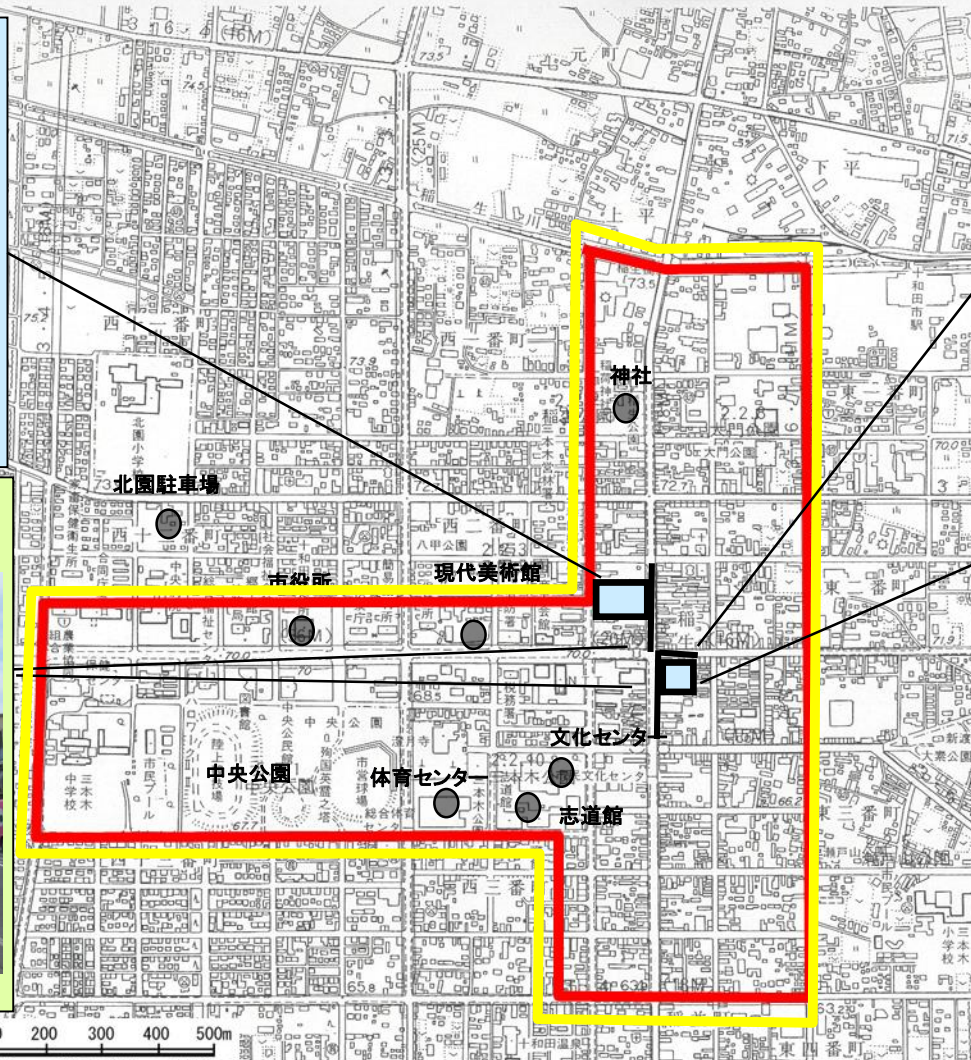
◆事業概要：本地区において交通結節点となり中心市街地の核となる交通拠点及び現代アートによる街おこしの拠点となる多用途施設を整備し、都市機能の増進や経済活力の向上を図ることにより、持続可能でコンパクトなまちづくりを推進することとしている。

◆事業主体：十和田市 ◆面積：109.0ha ◆交付期間：令和元年度～令和3年度 ◆事後評価年度：令和5年度

■基幹事業（地域生活基盤施設）  
十和田市まちなか交通広場



□提案事業（地域創造支援）  
アーケード撤去事業、街灯設置事業



■基幹事業（道路）市道大学通り線改良工事



■基幹事業（高次都市施設）  
十和田市地域交流センター「とわふる」



- 都市再生整備計画の区域
- 都市機能誘導区域
- 基幹事業
- 提案事業

# 青森県内の都市再生整備計画関連事業 活用事例⑥【むつ市】

## 大畑都市拠点地区（都市構造再編集集中支援事業）

◆事業概要:むつ市役所大畑庁舎は、老朽化が著しく耐震化等の大規模な改修が必要であり、大畑小学校では、児童の減少により教室等の空きスペースが増加している。そのため、大畑小学校校舎の空きスペースの一部をむつ市役所大畑庁舎へとコンバージョンし小学校校舎を複合用途化するとともに、地域の防災拠点としての強化により、都市機能の高度化、重要度の向上を図り、人口減少・高齢化社会にも対応出来る「持続可能なまち」、「魅力あるまち」、「安心して暮らしやすいまち」の構築を進めていくものである。

◆事業主体:むつ市 ◆面積:5.0ha ◆交付期間:平成30年度～令和4年度 ◆事後評価年度:令和5年度

■基幹事業（地域生活基盤施設）  
大畑地区防災広場



※かまどベンチ

※マンホールトイレ

■基幹事業（道路）  
市道伊勢道1号線



■基幹事業（道路）  
市道中島1号線



■関連事業  
事業主体:むつ市  
駐車場整備事業

■関連事業  
事業主体:むつ市  
校舎コンバージョン事業

■関連事業  
事業主体:むつ市  
校舎耐震補強事業



- : 都市再生整備計画の区域
- : 都市機能誘導区域
- : 居住誘導区域
- : ■ 基幹事業
- : □ 提案事業

(参考)  
[---] : ○ 関連事業

# 青森県内の都市再生整備計画関連事業 活用事例⑦【七戸町】

## 七戸十和田駅周辺地区（都市構造再編集中支援事業）

◆事業概要：七戸町の新たな市街地である「七戸十和田駅周辺地区」において、住民の交流機能を備え避難所を兼ねる地域交流センター及び駅利用者向け駐車場等を整備し、住民の交流を推進するとともに、災害に強い公共施設を整備することにより、駅周辺の都市機能の強化を図る。

◆事業主体：七戸町 ◆面積：26.1ha ◆交付期間：令和3年度～令和5年度 ◆事後評価年度：令和6年度

